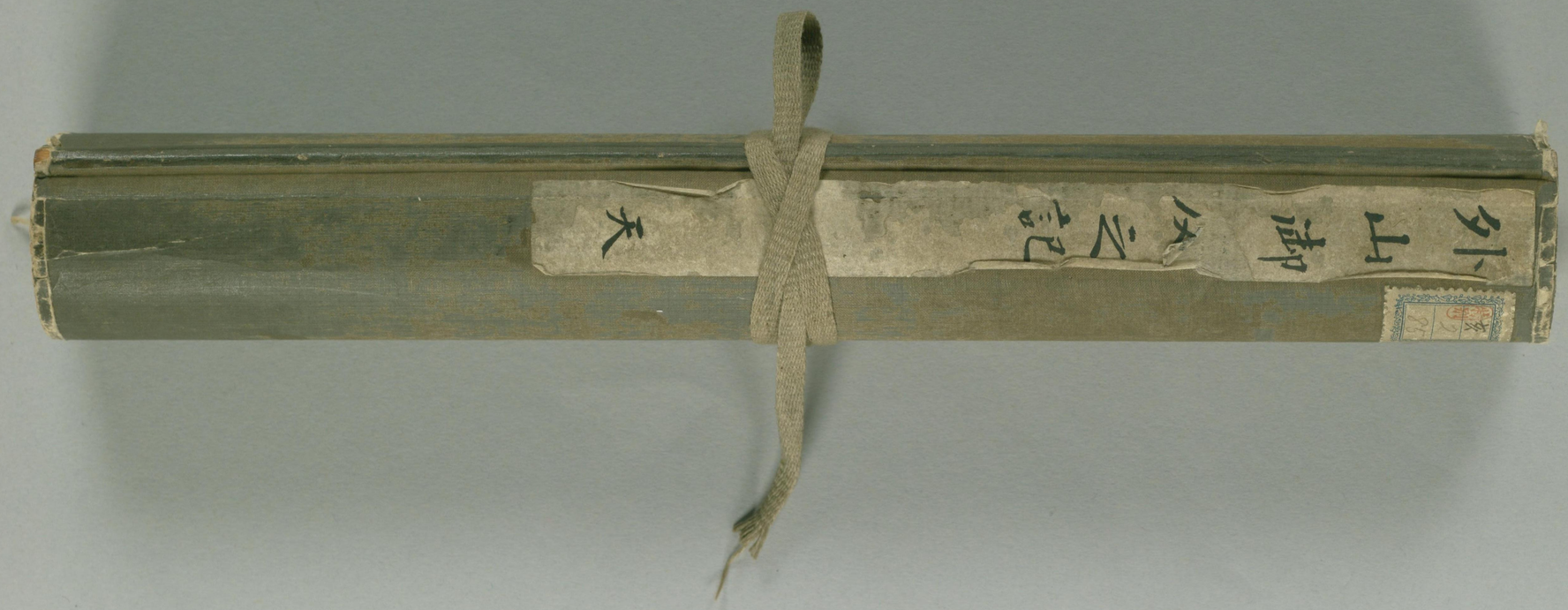

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』 請求記号 亥-85

外山御庭之記

天

亥
85

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号 亥-85

特別 亥之 85

○両臨堂

帝国図書館蔵

和田戸山之記

以前表面に出来候て唱へ申し
芝山の上平地大東に方を見さふ〜絶景の事なり
もっぱらに獅子花有り

川瀬文庫蔵書

帝国図書館蔵書

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号 亥-85

和田戸山之記

以前表面ニ出茶屋ト唱ヘ中ハ芝山ニ上平地大系ニ方ニ見ヘシ〜絶景ノ所ナリ〜〜〜〜〜ニ獅子石有リ〜

○両臨堂

延宝三乙卯年出来 世出茶屋ヲ見ル 色ヲ出シ 水ヲ出シ中侍ハ

○道灌松

世ニ知ル 代々ト調度ヲ

世ニ有太田道灌物見ノ松ト云フ江戸中ニ見ヘシ中中侍ハ天海僧正ノ出世ノ時ハ松ノ枝ヲ切ル 世ニ出シ 代ハ 代ハ 松ノ中ニ出シ 今ニ 枯木ニ成リ 存ル 元山 邊 両水門ヨリ出シ 水通リ 新ニ 長屋 多 迫 祖父 北丘尼 浄願寺 ノ 屋

瑞龍院様ノ数年 永代 参年 夏地ニ 出来 世ニ 存 祖父 北丘尼ヲ

自證院様ノ兄弟ニ 俗名 おさい おさと 中ハ出 奉公ハ 相勤ラレシ 人ハ 海ヲ

大敵院様出来シ 世ニ出 存ハ

○元御森屋

寛文九酉年出来

瑞龍院様出来 府ニ 長出 側中ハ 御付ニ 毎月 世 奉 ハ 御 ヲ

少 ヲ 天神ニ出 儀 世ニ ハ 御 ヲ 世 御 中 侍ハ

○水神宮

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号 亥-85

寛文九酉年出来

瑞龍院様出来府ニ成出側中ハ仰付ラレ毎月世話ヲ勝ト
少稽ヲ以天神ヲ出備（花ヲ）被新ニ出仰リ花園出来中侍ハ

○水神宮

右市谷ヲ出シ様ニ花園ヲ社ヲ清水ヲ清水酒ヲ流仙谷ヲ西ニ
流ヲ因不出腰掛茶ヲ二間余小ヲ二間ニ出地測成小舟モ有ル
出屋ヲ出来不
瑞龍院様出遊ヲ云ヒ水源ハ皆ト侍ハ

○錦明山

天神社ヲ御年殿ヲ

此所ハ天神山ヲ唱ヒハ紅葉ヲ大木数千本有ル初ヲハ
ヲヲシ〜ヲヲヒカル〜皆色ヲ西陣堂ヲ迄大木ノ紅葉
赤松ヲリ仙谷ヲ為ヲ〜ヲ〜ヲ〜ヲ

天神社ヲ御年殿ヲ

延宝七未年出取建ル

出神物殿像上ヲ十一面観世音雲中ヲ梅死ノ枝下ノ〜ノ〜神ノ
画ヲリ外ハ年号不知寅ニ三月十日ト有ル年紀箱ヲ
蓋ニ竹木枝ヲ花ヲ出ヲ〜ヲ〜ヲ〜ヲ
神図指渡ヲ画像出来ル〜朱ヲリ〜年月ヲ年ヲ

右ヲ神ヲ出ヲ切ヲ花ハ付御祓奉頼ハ出有ル海ヲ御前ヲ窺ハ出
見ヲ又出遊ヲ前ハ仮殿出来遷宮出来中侍ハ

○同新出来茶屋ヲ〜ヲ不

右同年出来

是ハ田舎茶屋ヲリ
錦明山御遊ハ御ヲ出ヲ乃
ヲ〜ヲ〜ヲ唱ヒ
瑞龍院様出遊ヲ出
中侍ハ

天神山ヲリ仙谷ヲ〜年ヲ出
中侍ハ

此所ハ大谷ヲ唱ヒ

○滝仙谷御腰掛

元禄四年出来ヲ場大破ヲ取毀ニ新ニ建ル出来

○臨遊亭

茶屋ヲ同日ヲ売堂ヲ茶屋早稲田往来小日向道ヲ
見ヲ〜ヲ〜ヲ有ル

同巳年出取ヲ出ヲ花ハ右因不出額ハ
瑞龍院様出筆ヲ中ヲ出ヲ

出紙ヲ大ヲ龍虎右ハ右虎左龍ヲリ

○三子ノ松

出茶屋ヲ〜ヲ〜ヲ〜西ノ〜ヲ〜ニ有ル〜茶ヲ屋ヲ十一ヲ
小ヲ〜ヲ石院前有ル

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号　亥-85

元禄四年出来ス 大破有 取繕い 出来

○臨遥亭

茶屋 同屋敷 堂 茶屋 早稲田往来 小日向道ヲ見ス〻〻有〻〻

同じ年出来ス 茶屋の内不出 額い

瑞龍院様出筆 三世の御霊

出来ス 龍虎石 右虎 左龍 有り

○三子ノ松

茶屋 ちかし 一面の〻〻に有〻〻 茶屋 一ツ

小さき石燈籠有〻

三ツまつ〻〻合ヒ一ツ

瑞龍院様出筆 右付 左松 中傳 三度枝枯

幹木斗り残り枯葉も朽腐 今い茶屋右跡幾花有〻

○竹倚御門

延宝六年出来 右出門〻出額 瑞龍院様出筆

茶い 新つ橋と 唱へ中ハ

計所大洲ヨリ幅三尺 間三ヶ所 高三尺 洲口に

大石ヨリ左右二ツ

○鳴鳳溪

有〻 右岸は右垣ヶ所 出ヶ〻 洲水流ル 右岸り有〻

○龍門橋

向へ洲〻ヨリ上〻橋洲ニ七号庵 ヶ所 又二七号庵 ヶ所 同有〻

簀戸弐尺位 ヶ所 十四枚有〻 ヶ所 枝上ハ和洲水御〻江戸ヶ所は

高〻 荒洲ヶ所 水上ハ十町斗 ヶ所 丁寺 祝ハ出泉ヶ所 ヶ所

○佃田御在郷屋 右同不橋 寛文十未年出来

延宝元年出来 右在々屋有ヨリ 細き田 茶屋 武和唱ハ

○竈御殿 右茶屋 延宝元年出来

○宇津之谷地蔵堂 延宝元年出来 出 銅佛地蔵尊一体

○鮫下御在郷屋 右同年出来

○坂下御門 寛文十八戌年出来

○茨苓坂

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号 亥-85

坂下御門　　寛文十亥年出来

○茨坂

○櫻之御茶屋　二三ヶ所出来

右茶屋ハ今延宝元年出来
御成ハ前ハ世所より出来食籠出酒出菓子賜ハ

○黒木之御茶屋

○菱屋御茶屋

○和田戸大明神

往昔和田戸山村ハ法華宗にて世世ハ神にて侍ハ

和田戸明神　神主住居　上ハ同所ニ寛付中武蔵ノ付
当時ハ神主住居ハ
延宝元年出来　茶屋琉珀橋ハ出来ハて家数二七軒ハ永なれ共ハ
有ハハ

○達摩堂　延宝六年出来

山田良兼細工にて侍ハ

○玉圓峯

茶ハ九ヶ嶽と唱ハ七廻り祝ハ

出泉水出来世法花ハ玉圓者共ハ運世法花
運ハハ嶽ハ抗議ハ世山村来ハ
寛ハ内面世法花ハて出来ハ高田源蔵村ハ代地ハ
ハハ付出来ハ右ハ通ハ伯付ハ

○琉珀橋

右橋向ハ方角ハ有ハハ大樹ハ　内ロナリ

右橋長サ拾六間

○橋ハ石乃琉珀ハ翻筆ハて
ナ内ロハハハて奉ハ城ハ

文化十亥年五月公家元出来
有ハ申新規ハり出ハ中ハ世家ハ方ハて
水ハ居橋板ハ十八間ハ申ハ

永正年徳博

○巳堂

橋向ハ右ハ方二サキ言蘇芝ハ有ハ大キサ七ハ巳ハ方も有ハ一下石
ハハ巳本在ハ来ハり巳ハ方ハ二マホリ拘有ハ合天井ハて黄クルメ
ハ金物結構ハり南小見ハハ西琉堂蔵の中ハ巳ハ人ハ池ハは
王子ハハ多居水中ハ有ハ　奇石ハハハ絶景ハ蓮ハの周ハ豊ハの中ハ遊来
赤ハ居ハ　法ハ竹ハ松ハ植有ハ世家百ハ中ハ

元禄九子年出来

○傍花橋

朱ハハ三ハリ

明ハハは紀端ハハ
ハハ
ハハ

永享徳俗

○巳堂　橋間に右ゝ方ニサキ言葉芝ゝ有ゝ大キサ七尺巳方も有屋ゝ下石々ゝ巳本柱い来ぬり巳方ニマホリ拘有ゝ合天井にて煮クルメ
為金物結構なり南小見えゝ　両脇堂霊の中ゝ見人ゝ池すは
王子立ゝ多居水中ゝ有ゝ　奇石おゝく絶景ゝ蓮ゝの周ゝ常ゝれの中ゝ遊事
寄多居ゝ　為ハ竹斗松斗ゝ為有ゝ　然ゝ乗物百ゝ中い

○倩花橋　朱ノハシ之ゝ

○明ゝ之ゝ花踏ゝ
ゝ月
ゝ

延宝元七年出来

随柳亭　右同年出来

吟涼橋　寛政十一亥年出来　以来王子大橋ゝ称唱中い

○王子権現

右王子社并御仮殿延宝元七年出来建替い王子権現別当
宗傳寺ゝ地面ゝ花内ゝ入ゝ新宗傳寺橋田町中ゝ入ゝ移ゝ
多居ハ寛文十二亥年出来

○役行者堂

寛文十一亥年出来建替い右行者堂ゝ有ゝ茂螺貝ハ拾本ニ而
王子家ゝ所持ゝ中傳い
右行者堂木像玉眼入ゝ左右ゝ赤鬼青鬼有ゝ

○文珠堂并　仁王門　文殊堂薬師弁外ゝツミ入不動尊一弁
此堂常ゝ堂ゝハ遠ひゝ前右ゝ仁王門内左右クマ笹二面

右堂ハ延宝元七年出来建替い新ゝ古来ゝ元九月雛鶴
ゝ行ゝ持ゝ庭ゝ不ゝ後ゝ南山ゝ御行ゝ蔵ゝ仁王門ハ
圓覚院様ゝ本寿院様ゝ法遍ゝ多ゝ巳谷ゝ歩ゝ庵浦ゝ居ゝ不ゝ門板
ゝ法遍ゝ

○小庭山盧山并　鐘楼堂　銅仏阿弥陀如来一弁

延宝元七年出来建替い社ゝ社ゝ額ハ
瑞龍院様ゝ書ゝ　社ゝ社ゝ二ゝ彼ゝ
元ゝ年ゝ着ゝ出ゝ慈ゝ文度ゝ節ゝ巳ゝ中傳い

沙汰ゆゑ

○小庭山盧山并鐘楼堂

延宝元年に取建沙汰に成り瑞龍院様御菩提ゝ為に二重塔を建立仕り其後度々修復仕り傳へ

銅佛阿彌陀如来一体

○六社

此度内々に成り小宮氏新に勧請仕り右二社、水神、天満宮、稲荷

東より一条宮二稲荷三月巳月ハ水神
六梅園稲荷なり

○古道政

鎌倉海道川を掘道を成鎌倉海道を紀大和国より此度大和へ
堂を此度取建前水神様に沙汰ゆゑ傳へ

○神明之社

延宝二年に取建沙汰

○拾翠臺

○乾山

○望野亭

此前は大和屋と唱へ中ゝ西へ方八丁ばかり西の山より水有り大和へ
流れ田畑を潤す為に水有り是なり

貞享四年に建立右茶屋前に此度新に
薄傳へ御城へ上り右新茶屋と中間新
御城へ長太間中通り薄傳へ
茶屋山に此度傳へ

○稲荷社

白鳥屋に完有り毎日毎夜神楽ヶ有り
或人扶持のなり

右稲荷此度内稲荷へ大社なり

○二重塔

延宝元年に取建沙汰

本尊、因幡堂釋加如来、赤龍大和尚書画

右稲荷出屋敷内稲荷ハ大社なり

○二重塔　延享元甲子年出来

○山里御数寄屋　延享元甲子年出来

本尊ハ洞仏釋伽如来世俗ハ赤壁大原寺内

○同所御勝手小屋　寛政六寅年出来

世俗庵住ハ三方竹垣ニ囲ハ孝余も可廻ハ数寄屋なり

○奥ノ院同所祠之阿彌陀　延享元甲子年出来建立ハ

瀬戸焼庭燈籠四天人余有ハ

○薬師堂　貞享四卯年出来建立ハ

○養老泉

ハ養老水御茶屋と唱ハ中ハ

右茶屋貞享四卯年出来同所御貴井戸同年出来

此井ノ水ハ寺名ニ石ハ中九ハ中ハ四ツ石を以ハ

水中ハ出線程建有ハ

○山人ハ

養老ハ

養老ハ

○養老ハ

出神狐三嶽安用天界　白山神社右ハ水分神社

有ハ仮別号ハ有ハ中ハ

○三嶽山權現

右社ハ子守大明神藏王權現勝手大明神三神なり延享元甲

子年出来建立ハ右社地出屋敷内ハ新別当寺ハ

引移ハ右社地ハ未落葉ハ年ハ毎年交出ハ

三嶽前出茶屋一ヶ所　延享元甲子年出来

○所龍渓　延享元甲子年出来　ハ赤ハ石垣ハ唱ハ中ハ

○荻ノ井　潰シ

○香神堂　享和元辛酉年正月廿四日夜出類焼ヲノカル

右三千香神ハ堂龍渓内迄ハ七軒寺町浄蓮寺ヲ

○外龍渓　　延宝元巳年出来　　築い石垣なと間ハ中ハ

○荻ノ井　　潰し之新敷

○香神堂　　享和之戌年正月廿四日夜出類焼ヲノカル

右之二十番神堂花洞院内迄ハ七軒寺町海蓮寺ヲ中ニ入ル所不今之地ヲ出取之次第ハ海蓮寺ヲ以て其地元之通ニ而亮長院海中中傳い

○人麿堂　　享和之戌年正月廿四日夜出類焼

寛文十二子年出取建ル所ハ右堂ニ而ハ出居人麿ハ前ニ南谷ニ入ル所ハ寛正徳之巳年新敷ハ出取建ル

○古驛樓　　此所外帝屋と唱ハ中ハ享和之戌年正月廿四日出類焼

此町家数二拾七軒間数百拾二間道長七拾五間先ヨリ二軒屋先撫戸迄或拾八間

右小田原宿之中年ハ中時九軒出之所ハ寛文年中ニ一ツ宿ヲ取ル之向ハ長ク二ツ宿ハ中ハ前ハ壮者多し

寛永年中ヨリ右九軒ハ又世第屋敷ハ出ル

掛巻師曽我屋ホヤリ間屋掛有ハ

高札ハ文政ハ端ハ花洞院様出ル中　右文政元之通

○高札

一　於此町中喧嘩口論之時当人ハ勿論町人早く不出合双方之分奉行所ニ不可届事

一　此町中押買不及ハ狼藉事

一　竹木ハ伐切取密伐ハ出ス事

一　落花狼藉如何之義ハ若事

一　人馬ハ滞有之義ハ出ス届事

年号月日

一此明中押買不及り貨事
一竹木ゝ伐切取密傳ゝ事
一藤花棚藉如何成若事
一人馬ゝ滞有之成ゝ出成ゝ儲事

年号月日

○大日堂　延宝二甲寅年出来建立
大日如来木像一体舟後光木地ゝ立和之文年正月世尊ゝ彫刻

○三軒茶屋
ゝ所ゝ茶屋ゝ有

○梅園御門

出町辰浦前出茶屋ゝ有　延宝七未年出来

○招隠里

延宝二甲寅年出来建立
瑞龍院様ゝ出遍面なる立ゝ中傳ゝ

奇に

○静さよ庵

ゝ様ゝ海世乃外ゝ

○彩雲塘

百日紅樹也有ゝ橋ゝ下に有ゝ長さ五尺巾ゝ
ゝ橋下元ゝ深淵ゝ成ゝ雲龍ゝ出ゝ所ゝ龍骨車ゝ掛
ゝ也下流ゝ上ゝ水出取也立ゝ也右龍骨車ゝ今
ゝ水ゝ掛ゝ食ゝ成ゝ

○辯天鴻

上ゝ弁天絵像白山中尼ゝ大黒天絵像蓮花ゝ有ゝ

兵戈元社出来殿ゝ再興不及ゝ橋ゝ延宝七未年出取
建立ゝ右弁天ゝ中備ゝ元ゝ社ゝ中ゝ初ゝ元建ゝ前
瑞龍院様ゝ自分ゝ御和中出掛ゝ立ゝ中傳ゝ

[illegible]

○五重之塔　元亨六丙寅年建立

○世外寺跡

右世外寺堂八九間小七間庫裏四所廊玉門等建立元亨元年[illegible]取建立[illegible]自後院[illegible]院[illegible]帝自後院[illegible]法華[illegible]元文[illegible]年右院[illegible]建立[illegible]

○世外寺鐘楼堂

右鐘之銘尤之通

○武藏國豊島郡和田戸山者我君公之別墅也此地有好山美景怪岩奇石又有一支小流新築長堤断而止之乃爲萬弓臣池鳥浮而不驚魚躍而不畏勃者植者風物萬千無處不遊目怡神也春則名花掛錦芳草鋪茵夏則新樹茂陰薫風徐来秋則月映楓林知夕氣佳冬則歲寒雖重松柏不凋四序之壯觀樂亦無窮也堂宇以奥慶一遊此則襟懷高潔宇宙赤寛都無寵辱之情何有是非之累亭立物表脫却世間名之曰西南山世外寺爰搆以揭蒲牢命予作之銘曰

堂宇以奥廢一遊此則襟懷高潔宇宙
赤寛都無寵辱之情何有是非
之累亭立物表脫却世間名之曰
西南山世外寺爰搆以掲蒲牢命
予作之銘曰

西南山　世外之寺
春秋長在　乾坤別置
一樓新架　九乳始備
釋家洪寶　神廟童器
五更霜降　半夜月墜
洗此塵埃　驚他昏睡
撞聲下愚　興起上智
遺響千年　其德惟至

延寶五年丁巳二月吉祥日

洛東匏繫子撰
治工
三宅伊勢守藤原正次

○八幡社

○觀音堂

滋見此觀世音ハ移也本像ハ不動明王ハ童子
金剛童子十二天ハ厨子又ハ座像ハ不動明王ハ移也ハ厨子入
中尊明王ハ移也本像一躰ハ厨子入一ツ無戈天座像一躰
小社一ツ大黒天以上無ハ也ハ観世音堂有り

九尺四方堂なり元文巳未年ハ来迄和ハて毎年正五
九月護摩ハ行ハ祷ハ行ハ
南京院又ハ西龍影院ハ勤ハ
寿院ハ
よ大黒天ハ
ら迄ハ

本

○御地蔵所

九尺四間堂なり元文四年出来迄ハ毎年正五
九月護摩ハ祈禱ハ寺僧より右護摩御祈願後前ハ
南京院又ハ西龍泉院ハ勤ハ不正徳四年より　本
寿院ハ下ハ進ハ不ハ節度ハ出ハ川移し後ハ右堂
ハ大王天ハ勇力ハ不ハ安置ハ大王天正徳三巳年市谷ハ
より出ハ移し後ハ

○御馳走所

延宝三卯年出ハ不ハ護摩ハ祈願ハ前ハ下ハ
出ハ下ハ御主殿ハ云有者ハ管領屋敷中傳ハ

○虚空蔵堂

延宝三卯年出ハ取建後ハ右ハ、本曽山ハ年頃後ハ
同ハ百姓より寺ハ中傳ハ右ハ不厨子ハ仏羅佛
一体ハ是ハ圓覚院様出ハ後ハ中傳ハ

○河原三軒屋

延宝元巳年出来　此三軒屋ハ川戦場ハ唱ハ中ハ

○濯纓川

ハ唱ハ中ハ

○魚籠乃ハ屋敷ハ大井川

ハ川前ハ戸川中度ハ砂利ハ
ハ川ハ戸川ハ
ハ小川より右河ハ内の様ハ橋ハ乃国小田ハ
ハ敷ハ後ハ中ハ

○ハ雪ハ流ハ中ハ

ハ石ハ水の流ハ有ハ

○志水御在屋

此ハ出度寄石ハ
水屋まて足ハ

延宝三卯年出来　堀貫井戸　二ツ

○西南山渡橋

此橋乃流水ハ

○西南山ニ渡ル橋

此橋ノ流水ハ玉川ヨリ大久保通リ入泉門迄
延宝七年新出来

○稲徳場

右出馬場ナリ延廻シ七拾三間出来
延宝元年出来

○紫竹御門　右同年出来

○石敷御門　寛文十一亥年出来

○御鞠場　太田道灌ノ鞠場ト申ス所有リ右ノ所ニ有リ
大木松ノ木有リ

○餘慶堂　出羽殿出来ノ所ヨリ向ヒ左ノ方ニ有リ樹ハサニセイナリ
出羽殿出来ノ所ヨリ遠ク有リ富士山ヲ見ル所有リ
大木松ノ葉中通リ木ノ根ヲ切リ込御絶家ノ右ノ表ノ中ノ四ツ目
塔ノ下ニ此木根ヲ切リ移ス二三重出来ノ年ハ中ノ中ノ
年ノ内ノ中ノ中ノ

○半鐘　此半鐘ハ尾州海ヨリ出ル高サ山ヨリモ出来ノ所ヲ
海ヲ何ノ所ヲ何ノ所ヲ有リ所ノ所ヲ有リ

出板ノ所ヨリ海ヲ横ヲ切リ海ヲ漁父ヨリ網掛リ上リ
此ヲ付漁父ヨリ先ヲ上ル出板ノ所ヨリ移シ
此ノ所ヨリ伝ハル

大キサ五尺斗中二尺八寸
ヲサビツキ中ハ
光ル所ハ風鈴ト云ヘリ

一出庭門外垣間数

内

五百拾七間　荻垣
五百九拾七間　竹垣
寛政七卯年改

一馬林御門外南北拾間

宝永三丙戌年風鈴ゝ屯二十年程ゝ於ゝ中

一 少庭門垣柵垣間数

内 五百拾壱間 荻垣
五百九拾四間 黒門垣
寛政七乙卯年改

一 厩木合弐千弐百八拾六本

内 千三百七拾本 荻苓
四百三拾七本 大原
門外年改

神社合十五ヶ所

荻苓
天神社
加茂戸明神
水神社

大原
王子権現

六社
内神社
稲荷社
三嶽権現

出町家
書神堂
奥方天

仏閣合九ヶ所

荻苓
地蔵堂
達磨堂

大原
役行者堂
文殊堂

小盧山 出洞松阿弥陀仏 出茶屋ゝ有り

二重塔 洞松釋伽如来

銅ゝ阿弥陀

薬師堂

兎角山観世音堂

武百弐拾三本
百五拾六本 出町家
兎角山

出入り惣矢来間数
三千四百弐拾間余
寛和元酉年少勘定帳元文五丙辰年書付有ゝ

王子權現

後行者堂

文殊堂

小盧山 出羽北阿彌陀山茶屋ゝ有り

二重塔 羽黒釋伽如来

銅ゝ阿彌陀

薬師堂

兎南山觀世音堂

六社

内神社

稲荷社

三嶽權現

出町家

書神堂

弁才天

出メリ惣矢来間数

三千四百弐拾間余

寛和元酉年ゟ動定不見矢書付有ゝ

明治十四年五月購得翌歳十二月裝潢成

皆園屋主人小澤氏藏

国立国会図書館　タイトル『外山御庭之記』　請求記号 亥-85